

環境副大臣  
関 芳 弘 様

国の施策等に関する  
提案・要望書

(平成29年4月)

鳥 取 県

# 「国立公園満喫プロジェクト」の 確実な実行に向けた予算の確保について

## 《提案・要望の内容》

- 平成28年12月に取りまとめられた「大山隠岐国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム」の確実な実行に向け、予算の総額確保及び地方公共団体が行う整備への重点配分を行うこと。
- 特に平成29年度は、平成30年に全県挙げて開催する「大山開山1300年祭」に向けて外国人観光客等の受入れ環境整備を行う重要な年度であるため、予算の重点配分を行うこと。

### ※大山開山1300年祭

大山寺が718年に創建され、平成30年(2018年)に開山1300年を迎えることから、地元自治体、観光、経済団体等官民一体となって、大山山麓地域の活性化に向けた各種事業を展開する。

## (現状と課題)

- ・大山隠岐国立公園の位置する鳥取県西部地域は、ソウル便、DBSクルーズ船、大型クルーズ船等が就航し、また、新たに昨年9月から香港定期便が就航する等により、外国人観光客の来訪が増加している。本県では「観光立県」を目指して観光客の誘致を主要施策に位置付けており、「国立公園満喫プロジェクト」の選定は、平成30年に全県挙げて開催する「大山開山1300年祭」に向けた外国人観光客等の受入れ環境整備に資するものとして、大きく期待しているところである。
- ・「同プロジェクトステップアッププログラム」を実行すべく、地域が一丸となり各種事業に取り組もうとしている中、貴省の予算規模は本県要望額を大きく下回り、5年間で予定している施設整備の実行も不透明な状況。
- ・特に平成28年度補正で設計を進めてきた事業がH29年度は工事の実施段階に入っていく中、計画事業費に対し約4割の配分では、インバウンド対応のための受入れ環境整備に支障を来すことになる。
- ・インバウンド獲得の契機となる東京五輪開催が迫る中、選定を機に高まる地域の気運を後押しするためにも、満喫プログラムの確実な実行が可能となるよう予算の総額確保及び重点配分を要望する。

大山隠岐国立公園満喫プロジェクト 5ヶ年事業費(県・町事業主体分) 単位:百万円

	H28	H29	H30	H31	H32	5カ年計
事業費	232	693	248	778	484	2,435
国費	116	343	124	389	242	1,214
内示額	106	141				
配分率	91.4%	41.1%				

※H30年の大山開山1300年祭開催を目指し、H29年は大山寺周辺へ集中投資を行う計画としている。

※大山開山1300年祭以降のH31、32年度は山岳地帯に存する避難小屋・登山道等の施設整備へシフト。

## 大山隠岐国立公園 満喫プロジェクト 施設整備イメージ

